

感染症内科

部長 石田 正之

診療体制

昨年より引き続き中岡大士先生と常勤2名と4月からは専攻医として馬場咲歩先生が加わり、3名体制で診療に当たっている。個々の感染症診療だけでなく、病院内の感染対策（Infection control team : ICT）、薬剤耐性菌抑制のための抗菌薬適正使用チーム（Antimicrobial Stewardship Team : AST）活動も担っている。

診療の実際

感染症の専門的トレーニングを受けた、感染症専門医・指導医がいる数少ない施設の一つとして、また学会認定教育施設として質の高い診療の提供を心掛けている。これまでと同様、入院に関しては感染症の疑い症例、すでに感染症の診断がなされているが、治療経過が思わしくない難治症例、不明熱症例などに対してのコンサルトを中心に、血液培養陽性例など、重度の高い疾患に関しては、コンサルトの有無にかかわらず、診療介入を行っている。実際昨年はのべ833症例に介入した。また外来では不明熱や難治性感染症の紹介、梅毒などの性行為感染症の診療、感染症渡航関連感染症が疑われる症例を中心に診療を行っている。2021年より、これまで個別対応のみであった、海外渡航者の渡航前健康相談やワクチン接種を行う専門の外来を、門戸を広げて診療行っておりますが、2022年は92名の方に利用をいただいた（ワクチン接種希望49名、診断書作成（英文）18名）。

引き続き感染対策委員会やICTチームとの協力を通じて、院内感染対策にも力を注いでいます。ASTも活動も行い、年々その対応件数は増加をしている（2022年は、のべ1337例の症例に診療の介入を行った）。また今年からは、その活動は院内のみならず、感染症を専門とする医療従事者がいない施設に対しても、電話やWebを用いた相談に応じる、もしくは実際に現場に向いて、現場の職員を直接教育しながら、感染対策の従事を図る、専門医療従事者の派遣活動も継続している。

昨年同様学会からは蚊媒介感染症専門医療機関ネットワーク活動において、蚊媒介感染症専門医療機関（http://www.kansensho.or.jp/mosquito/medical_list.html）に指定されており、専門的な診療を継続している。

昨年から引き続き、SARS-CoV-2感染症に関しては、院内外を問わず、疑い患者の診断、陽性者の診療、感染予防対策に関してはその中心となって従事している。本年も新型頃ウイルス感染症診療重点医療機関として、高知県のSARS-CoV-2感染症重症者の診療の一翼を担い、当科と総合内科を中心に他の診療科とも協働して216名の入院治療をおこなった。

以前より感染症の治療だけでなく予防にも力を入れており、その一環として、増加の一途をたどっている、肺炎において、最も多い原因である肺炎球菌に対してのワクチン接種に関して、積極的に推奨を行っている。前述のように今ワクチン外来の開設により、より多くのワクチン接種に対応可能な環境を整備・強化をしている。

教育・研究

感染症診療に必要不可欠な細菌検査技師、薬剤師とは定期的に、レクチャーや症例検討を行い、お互いの質の向上に努め、引き続き各種資格の取得のための研鑽を積んでいる。コロナ禍により活動が制限されてしまったが、来年以降はこの2年弱を取り戻すべく、活動を検討している。また次世代の若手医師に対して、レクチャーや実際の症例を通して、感染症診療の考え方を教育している。

また学術的な展開としては、引き続き厚労省「成人の侵襲性細菌感染症サーベイランスの構築に関する研究」の研究班に属し、重症感染症の共同研究を継続している。国立感染症研究所と長

崎大学との共同研究が行っている、日本人の新型コロナウイルスワクチンの有効性を明らかにする大規模疫学研究（VERSUS）も継続中である。加えて本年より日本の入院を要する呼吸器感染症の大規模疫学研究（APSG-J-2）にも参加し学術活動も積極的に行っている。

課題

メディカルスタッフの知識、能力は着実に向上し、現場の感染症診療チームとしての活動は着実に広がりを見せているが、ニーズに対して人員の不足から十分に対応を仕切っていないのが現状である。引き続き人材の育成、確保を行っていく。

学術発表・講演会等

学会発表

演題	発表者 共同研究者	学会名	開催
<i>Streptococcus gallolyticus subsp. pasteurinus</i> による感染性心内膜炎・脳塞栓症を契機に発見された大腸癌の一例 <small>(内科学会総会 医学生・研修医の日本内科学会ことはじめ 2022 優秀演題賞)</small>	三枝寛理 馬場咲歩 中岡大士 白神実 石田正之	第 119 回内科学会総会呼吸器学会総会	4月 15 日～17日 京都
当院での成人侵襲性インフルエンザ菌感染症(IHD)の検討	馬場咲歩 三枝寛理 中岡大士 白神実 石田正之	第 96 回感染症学会総会	4月 22 日～23日 Web 開催
当院での <i>Streptococcus anginosus</i> group 感染症における臨床像の菌種別検討	石田正之 馬場咲歩 三枝寛理 中岡大士 白神実	第 96 回感染症学会総会	4月 22 日～23日 Web 開催
<i>Parvimonas micra</i> (<i>P.micra</i>) による膿胸の 3 例	城可方 馬場咲歩 藤原絵理 三枝寛理 中岡大士 石田正之	第 92 回感染症学会西日本地方会総会	11月 3 日～5日 長崎
当院での <i>Streptococcus anginosus</i> group 感染症における臨床像の菌種別検討	石田正之 馬場咲歩 三枝寛理 中岡大士 白神実	第 92 回感染症学会西日本地方会総会	11月 3 日～5日 長崎
腸腰筋膿瘍の臨床的検討	馬場咲歩 三枝寛理 中岡大士 白神実 石田正之	第 92 回感染症学会西日本地方会総会	11月 3 日～5日 長崎
(AST の介入により) Vancomycin 體注にて改善がえられた MRCNS (<i>S.capitis</i>) によるシャント感染・髄膜炎の一例	高橋佐和 中野克哉 石田正之	第 70 回化学療法学会西日本地方会総会	11月 3 日～5日 長崎

講演

演題	発表者 共同研究者	講演会名など	開催
感染症の基礎知識と新型コロナウイルス感染症	石田正之	高知県感染症研究会	5月 26 日 高知
急性膿胸における、歯性疾患（主として重症歯周炎）との関連についての検討	馬場咲歩 藤原絵理 三枝寛理 白神実 中岡大士 石田正之	高知県感染症研究会	6月 23 日 高知
コロナ感染症流行第 6 波で生じた、大規模クラスター事例の検討 -大規模クラスターの経験を踏まえた院内感染対策-	石田正之	高知県感染症セミナー	11月 14 日 高知

論文発表・著書

タイトル	執筆者 共同執筆者	掲載誌 出版社	巻・号 ページ
Immunogenicity and safety of COVID-19 vaccine in lung cancer	Nakashima K, Ishida M, Matsui H, Yoshida C,	Human Vaccines & Immunotherapeutics	Vol.18 No.6

patients receiving anticancer treatment: A prospective multicenter cohort study.	Nagai T, Shiraga M, Nakaoka H, Otsuka Y, Nakagama Y, Kaku N, Nitahara Y, Kido Y, Hirota Y.		e2140549.
Long-term impact of pneumococcal conjugate vaccines for children on adult pneumococcal pneumonia in Japan: Two multicenter observational studies from 2011 to 2020.	Maeda H, Gopal Dhoubadel B, Sando E, Suzuki M, Furumoto A, Asoh N, Yaegashi M, Aoshima M, Ishida M, Hamaguchi S, Otsuka Y, Morimoto K.	Vaccine	Vol.40 No.37 pp.5504-5512
High prevalence of multiple serotypes of pneumococci in patients with pneumonia and their associated risk factors.	Dhoubadel BG, Suzuki M, Ishifuji T, Yaegashi M, Asoh N, Ishida M, Hamaguchi S, Aoshima M, Yasunami M, Ariyoshi K, Morimoto K	Thorax	Vol.77 No.11 pp.1121-1130
Effectiveness of Messenger RNA Coronavirus Disease 2019 Vaccines Against Symptomatic Severe Acute Respiratory Syndrome Coronavirus 2 Infections During the Delta Variant Epidemic in Japan: Vaccine Effectiveness Real-time Surveillance for SARS-CoV-2 (VERSUS).	Maeda H, Saito N, Igarashi A, Ishida M, Suami K, Yagiuchi A, Kimura Y, Komino M, Arai H, Morikawa T, Motohashi I, Miyazawa R, Moriyama T, Kamura H, Terada M, Kuwamitsu O, Hayakawa T, Sando E, Ohara Y, Teshigahara O, Suzuki M, Morimoto K.	Clinical Infectious Diseases	Vol.75 No.11 Pp1971-1979
Pneumococcal meningitis in adults in 2014–2018 after introduction of pediatric 13-valent pneumococcal conjugate vaccine in Japan	Bin Chang, Kosuke Tamura, Hiroyuki Fujikura, Hiroshi Watanabe, Yoshinari Tanabe, Koji Kuronuma, Jiro Fujita, Kengo Oshima, Takaya Maruyama, Shuichi Abe, Kei Kasahara, Junichiro Nishi, Tetsuya Kubota, Yuki Kinjo, Yusuke Serizawa, Reiko Shimabashi, Munehisa Fukusumi, Tomoe Shimada, Tomimasa Sunagawa, Motoi Suzuki, Kazunori Oishi & the Adult IPD Study Group	Scientific report	Vol.12 No.1 e3066
Dynamic changes in clinical characteristics and serotype distribution of invasive pneumococcal disease among adults in Japan after introduction of the pediatric 13-valent pneumococcal conjugate vaccine in 2013-2019.	Tamura K, Chang B, Shimabashi R, Watanabe H, Tanabe Y, Kuronuma K, Oshima K, Maruyama T, Fujita J, Abe S, Kasahara K, Nishi J, Kubota T, Kinjo Y, Fujikura H, Fukusumi M, Shimada T, Sunagawa T, Suzuki M, Yamamoto Y, Oishi K; Adult IPD Study Group.	Vaccine	Vol.40 No.24 pp.3338-3344
特集：新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のすべて 病態と診断 発症病態と重症化メカニズム 10 のポイント	小倉高志 織田恒幸 石井誠 石田正之	呼吸器ジャーナル	70巻 5号 pp.351-361